

たけもの

2022.9.20
自主学童保育ささのはクラブ

<敬老の日のプレゼント>

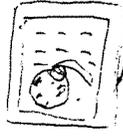


9/14(水)には、できたプレゼントを持ち帰りました。
「今度の土曜日に行くよ」など近頃は渡せたでしょうか?
「おばあちゃんの家遠いから...今度行った時渡せるかな?」
これ小さいからお手紙といっしょに送れるかな、つぶれないようにして。

こんにちは。
わたしたちは、西野川地域にある学童保育ささのはクラブの子どもです。いつも野川台にある公園で、友達とおにごっこやドッジボールなどで楽しく遊んでいます。みなさんも、色々なことを楽しんで元気に過ごしてください。
敬老の日のために、折り染めをした和紙で貝を包んで「飾り物」を作りました。色々な色が重なり合って、きれいにできました。ぜひ使ってみてください。これからもよろしくお願ひします。

学童保育ささのはクラブ

1人3つ作ったプレゼントの内、1つは、地域のお年寄りのプレゼント用にみんなから提供してもらいました。それぞれにお手紙を添えて個包装して、「寿楽園」と「野川老人にいの家」に届けました。また子どもは出入できないので指導員がお届けして、利用者さんにプレゼントしてもらいました。



「えっ? どの位の風?」+「風速25mになるかもだよ」
「それってどのくらい」
「車の速さになると、時速90km 高速道路走ってる位だよ」
「えー!!」
下は下ろすと承知すると思いきや、ひで、ガタガタにしばり始めたのです。引はってみたい、ゆるしてみたい、裏にも回したり...でも途中で使いたくなると、気にせず使い、また元に戻してしばり直す...を繰り返します。遊びたい気持ちと、こたまりと、心配とが混ざり合った労をいとわれない子どもの意欲、ておびな!と感心。指も見習ってささのはの用ひのカラクダを少し片付けました。

<おたのしみ会にむけて>

9/14(水)16(金)に指による出し物のデモンストラーションをしました。それぞれが、小さい作品で短いけど、影絵、人形、こうやってできてくんだよ、とか、パネリアターは、どうやって台に付くのかとか、どうして動くのか? 人形劇の人形は、夏休みで作った人形とどう違うのかを見せながら説明したり、子ども達が、自分達で作るところを説明したりしながらやりました。そこから、「パネリアター」「ブラクパネリアター」「影絵」「人形劇」「パネバル」「リコーダー合奏」の中から選んでもらいます。
1~3年は、人形系から1つ選び、3年はプラス、リコーダーもありです。4~5年は、人形系から1つと、やりたい人は音楽系から1~2つ選びます。希望は第1希望から第3希望まで聞いています。希望者が多いところは相談して調整します。「やりたいもの、て選ぶ一方、○○ちゃんとやりたいという気持ちもあるよで、一番難しいところ。人数が多かったり、学年のばらつきが多かったりするよは、出し物を分けたり、します。毎日少しずつ進めますが、2ヶ月間かけてるので、そこで友達関係が広がったり、好きなことを見つけたり、不得意と思てたことが、こうできて、自信が広がったり、やってみると、とても大事な取組だと思えます。
高学年になると、悩みのたねはみんながそろって練習時間の確保です。元々、授業時間が長くて日々の時間が短い上に、日暮れが早くなって、帰りの帰る時間が早くなり、習いごとのある人が抜けて...集中練習日を相談して決めることもあるよで、よろしくお願ひします。

<台風へ備えて>



駐車場と境の木

今、男の子達の間で、木の棒集めがはやっています。隣が竹林だった時は、ここに入り込んで、木や竹を使って基地作りをしたり、アスレチック風コースを作ったり、よじのぼりしていましたが、それができなくなてからは、学校帰りや公園帰りに、並木から落ちて来た、枝をせせと集めるようになりました。「背よりも長い棒は危ない、先が尖ってち、危ない...」と言われるので、のこぎりで切り、小枝も落とし、さらに樹皮をむき、コンクリートで削り、ツルツルにして「オシダの木棒」を作ります。さらに山ほど集めているのは「基地作り」を目指している(?) その大事な棒は地面に山積みといっしょにはできない様で、駐車場の境の木の枝に、棒置き場を作って、架けてあります。台風情報が多くなて来た頃「これさ、飛ぶかもね、人に当たたら大変だから、今だけ下ろしたら?」と指が言った